

KOCHI ROTARY CLUB

2019
2020



ロータリーは
世界をつなぐ
2019-20年度 RIテーマ

週報

SINCE 1937



Weekly report 第3424回

2020年 1月28日 2020年 2月 4日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。一昨日の日曜日、社会奉仕委員会の藤田さん、芝藤さん、南さんからお誘いを受けて、尾木大先輩と私の5人で、子ども食堂の活動に参加してきました。

多少、私の理解が違っているかもしれませんが、ホームページ等を見てみると、最初、子ども食堂は、母子家庭や若くして結婚して子どもがたくさんできて経済的に苦しい家庭の子どもさんを対象に立ち上がったようですが、そのうち、それぞれの地域で居場所のない人も含めて、大人300円、子どもは無料で、一緒にお昼ご飯を食べるという今の形になったようです。現在、高知県下で64、65の食堂があるということです。

いつもは寂しく1人でお昼ご飯を食べている子どもや、人数が多い家族で、食べたい物を食べれていない子ども

など、50名ほどが集まっていました。尾木先輩や芝藤さん、私など男はあまり用事がなくて、藤田さんや南さんは八面六臂の大活躍で、料理を作ったり配膳をしたり、大変な働きぶりでした。

ロータリーの地区補助金での支援は2年が限度だということです。子ども食堂への支援は今年2年目で、今後どうしていくかは、来期、皆さん方で決めていただけたらいいと思います。今回私は参加して、久しぶりにロータリーの良さ、あるいはボランティアで汗をかいている皆さんを見て、地元の子どものためにこんないいことをしているんだということを強く感じました。



■ 本日のプログラム [2月4日]

会員スピーチ

東京海上日動火災保険(株) 高知支店長
上野 里美 会員
「地方創生と健康経営の取り組み」

会 長	安 光 保 二
副 会 長	中 村 裕 司
幹 事	中 澤 陽 一
副 幹 事	関 雅 文
会報責任者	川 崎 敦 子

● ローターソング「我らの生業」

● 会員スピーチ

被災地への企業ボランティア派遣 ～東日本大震災の経験

みずほ銀行 高知支店長 出口 学 会員



私は大阪生まれですが、会社に入ってから西日本と東日本を行ったり来たりしています。その中で、持株会社に出向して、コーポレート・コミュニケーション部にいたとき、2011年東日本大震災が起きました。直後、弊社でも被災地にボランティアを派遣しようということになり、私自身サラリーマン人生の中で初めての経験をしました。皆さんの中でも被災地にボランティアに行かれた方はいらっしゃると思いますが、企画側に回ったことがある方は少ないのではないのでしょうか。

これからお話する内容は会社の見解というより、個人の見解ということでお許しいただければと思います。

2011年、弊社は東京都が企画したボランティアに社員を派遣することから始めました。そのうち、お付き合いしていた企業グループから一緒にボランティアをしませんかというお話がありました。ボランティアをするのに、まずは宿泊先の確保、次に受け入れ先の確保が大事です。我々は日本三景で有名な松島の観光ホテルに長期間宿舎を借りることができました。当時泊まっていたのは自衛隊、警察、ボランティア等々。受け入れ先は宮城県の七ヶ浜町。高知県の田野町より少し大きいけど奈半利ほどではない町で人口は1万8,108人、人口密度は高知市より高い。七ヶ浜町の震度は5強で、宮城県で1番厳しかった栗原市の震度7ほどの揺れではなかったので、建物の被害というよりは津波の被害が大きかった。10メートル以上の津波警報が出て町の4分の1が水に浸かり、死者94名、避難者6,143名、住宅災害3,927件。水産業被害117億、農業施設22億、ライフラインは全て不通。加えて、JXの製油所のガソリタンクの周辺で爆発火災が起きて避難指示が出ていた。海水浴場にはコンテナが漂着して、荷物が散乱しているといった状況の町でした。

我々がこの町を選んだ理由は、一つは東京からの交通の便が良かったこととホテルから近いといったことでしたが、1番大きかったのは、受入態勢が整備されていたことです。ボランティアでは、ニーズを拾うというのは



大切な作業です。目の前に瓦礫が転がっていても、住民の方に了解が得られないと勝手に取り除くことはできません。住民の方から、これをしてほしいというニーズがしっかり出てこないとなボランティア活動は成り立ちません。この町は震災に備えて、早くから社会福祉協議会が地域の方と交流する中で、何か困ったことがあれば協議会に言ってきてくださいという活動がしっかりできていたので、住民のニーズがはっきりしていました。

交通費、宿泊費、食費は会社負担。2011年6月から活動開始。複数の企業で同じチームを組んで活動をしたことで、お互いの肩書きなど関係なく平等に対応できたことがとても良かったと思います。例えば4日間の行程の場合、初日は東京に集合、バスで現地入りし、町内の見学。2日、3日、4日の午前中まで現地で活動。午後のバスで東京に戻って解散。毎日9時にボランティアセンターに集合。住民のニーズに対して、それをやりたいボランティアをつないで、10時から活動を始め12時にお昼。1時から3時まで活動してかたづけ。5時にホテルに帰って、7時半からミーティング。現地に行って精神的にストレスを感じる人もおり、自分の中にため込まないでみんなで語り合っ流すことを意識しました。

初期の活動は、個人の家の床板外しもありましたが、家の周辺の瓦礫の除去、畑や海岸の瓦礫の除去や清掃が多かったです。10～20人でチームをつくり現地のリーダーの人の指示に従って活動します。ボランティアの人数を派遣することも大事だけど、とにかく1回経験してもらいたいと、複数回の希望者よりも新規の人、ボランティアに関心はあるけど、何からしていいかわからないという人に行くきっかけを与える。今回は会社から行くけど、次は個人で行けると思えるような材料を提供しました。

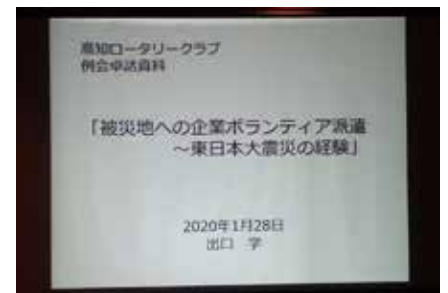
我々が行った発災3ヵ月後には、もうスーパーやいろんなお店も営業していました。ただ、参加者にはそれを伝えませんでした。というのは、伝えてしまうと用意に手抜きが出てケガにもつながり兼ねないということで、とにかく事前にしっかり準備をしてくれと。そして、活動の内容だけではなくて、自分たちが行くのはどんな町なのか葉を作って、もう1回、個人で来てほしいという地元の方達の思いに応えたいと思いました。当時、まだまだ余震や津波発生のリスクはありましたので、活動場所の近くにバスを置き、万一のときは高台に避難できる

対策は取っていました。

実際に行って、現地の方から言われて初めて気づいたこともたくさんありました。例えば今は瓦礫に見えるかもしれないけど、昨日までは家財道具であって、家族の思い出である物だということを忘れないでほしい。また、皆さんの家が津波で突然崩れてしまった。それを数ヵ月後にボランティアが来て、記念写真を撮るのはどう思うかと。日本人は真面目ですから、休憩なんか要らない、もっと働きたいという人も多かったのですが、活動中はしっかり休憩を取って、ケガをしないように、また地元の方が話かけてきたら、手を止めてきちんと話を聞くことも大事だと感じました。

弊社の被災地支援活動としては、2014年までボランティアを派遣したほか、ひな人形や鯉のぼり、小学校へは絵本を寄贈したり、花や苗木の寄付、被災地の製品の販売支援などを行ってきました。私は、1年後に転職になったのですが、その後は1個人のボランティアとして、時々七ヶ浜町に行っていました。今も、1年に1回、障害者の就業施設で行われるイベントに参加しています。

私自身たまたまこういう部署にいて、ボランティアに行くきっかけを与えられたこと、手伝いに行くという上から目線だったものが変わってきたこと、いろんな会社の方と活動ができて企業をまたぐ友人ができたこと。こういった経験ができたことは本当に良かったと思います。また、自分もいつか被災者になるかもしれないと考えると、日ごろ地域とちゃんと連携しておくことは、とても大事なことだと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	2月 5日	夜間例会(阪)	高知中央RC	2月 6日	創立記念夜間例会(城)
高知中央RC	2月13日	ロータリー休日(城)	高知北RC	2月17日	IMに振替(三)
高知東RC	2月19日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	2月20日	夜間例会(阪)
高知RC	2月25日	夜間例会(三)	高知西RC	2月28日	夜間例会(三)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

😊 ニコニコ箱

- 北澤 和彦 NHK総合テレビ「ブラタモリ」で再び高知県を取り上げます。「ブラタモリ 四万十川最後の清流に隠された秘密とは?」と題して、今週土曜日2月1日と翌週8日の2回シリーズで放送します。ぜひご覧ください。
- 出口 学 本日は卓話を聞いていただきありがとうございました。拙い経験でしたが、何かの参考になれば幸いです。
- 武樋 泰臣 先日、妻の誕生日、朝1番にきれいなお花を届けていただきました。ありがとうございました!

🌸 2月のお祝い

- | | | | |
|----------|-------|-------|--------------|
| (会員誕生日) | 出口 学 | 高村 禎二 | 関 裕司 |
| | 安藤 一臣 | 田岡 弘久 | 各会員 |
| (配偶者誕生日) | 関 敬子 | 森本美奈子 | 久松 智津 杉本 延一 |
| | 紫藤 禎子 | 広末 多江 | 北澤 由香 各会員配偶者 |
| (結婚記念日) | 佐竹 新市 | 隅田 和稔 | 小笠原晃男 笠井 勇治 |
| | 出口 学 | 山崎広一郎 | 横田 英毅 安光 保二 |
| | 末松 史朗 | 西山 彰一 | 各会員 |



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	マイキャップ	出席率
1月28日	(-7)91	57	21	6	75%
1月14日	(-7)91	47	7	30	92%

● 累計額 [1月28日現在]

ニコニコ箱	537,500円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	166,175円	ポリオ募金	355,600円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [2月18日]

ゲストスピーチ
 南国病院 院長
 中澤 宏之氏
 「認知症を理解する」

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>